

先日は手賀沼定例自然観察会にご参加いただき、ありがとうございました。観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回4月の「てがたん」は4月9日(土)で「あびこの自然景観」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは**4月2日(土)**です。よろしくお願いいたします。

3月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2016年3月12日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 17名 (一般12人、子ども5人)
- 市民スタッフ 9人 (石原直子、伊東茂子、大嶽若緒、木村稔、小泉伸夫、染谷迪夫、竹本周平、弘寛さと子、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 1名 (村松和行)

観察記録 - 3月てがたんで観察した生き物リスト

【鳥類】

カモ科：コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ、ダイサギ/クイナ科：オオバン/カモメ科：ユリカモメ/タカ科：ミサゴ/カワセミ科：カワセミ(声)/カラス科：ハシボソガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ムクドリ科：ムクドリ/ヒタキ科：ツグミ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：オオジュリン/外来種や家禽：ドバト

【哺乳類】

ネズミ科：ニホンハツカネズミ

【両生類】

アマガエル科：ニホンアマガエル

【環形動物】

ミミズの仲間：ミミズの種類

【節足動物】

甲虫の仲間：ナナホシテントウ、オサムシの種類、シバンムシの種類/バッタの仲間：ヒシバッタ/ダニの仲間：ササラダニの種類/トビムシの仲間：トビムシの種類/クモの仲間：ウツキコモリグモ、イオウイロハシリグモ、ゴミグモの種類

【花】

キク科：セイヨウタンポポ、オオジシバリ、ノゲシ、ノボロギク/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/ハエドクソウ科：ムラサキサギゴケ/スミレ科：タチツボスミレ/オオバコ科：オオイヌノフグリ、ツタバウンラン/マメ科：カラスノエンドウ/アブラナ科：タネツケバナ、ミチタネツケバナ、ナズナ、セイヨウアブラナ、セイヨウカラシナ/ムラサキ科：キュウリグサ/ナデシコ科：コハコベ、オランダミミナグサ/イネ科：スズメノカタビラ/イグサ科：スズメノヤリ/トクサ科：スギナ(ツクシ)/バラ科：ユキヤナギ(植栽)

3月の観察アルバム



今回のテーマは「土と生物」でした。普段あまり注目しない土の中の生物や菌類の観察を通して、土壌の成り立ちについて考えました。

鳥類は繁殖期が近づき、オオバンやカルガモなどの水鳥がペアで泳いだり、追いかあう姿が観察されました。



今月の案内人 竹本周平さん、湯瀬一栄さん



1 積み草の中で多く見られたウツキコモリグモ



2 土の中の腐植を食べるササラダニの仲間 (種不明) (大きさ: 0.5~2mm)



3 成体や幼虫の姿で越冬するヒシバッタ



4 積み草の中から出てきたニホンアマガエル

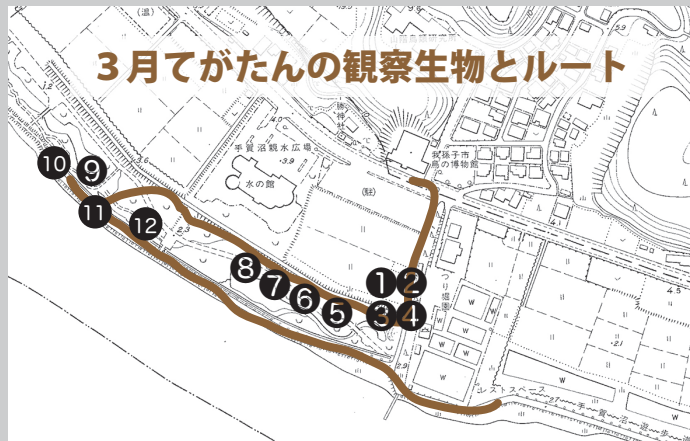


5 土ごと微生物や植物質を食べるミミズの仲間



12 木材腐朽菌に分解される木材

セルロースとリグニンという分解されにくい成分でできている木材は木材腐朽菌の働きによって分解され、土に混ざります。

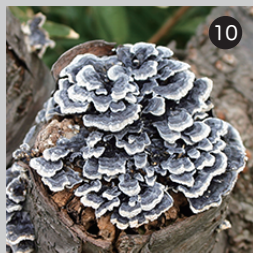


6 ミミズが食べた後の土

ミミズがいる土は通気性がよく、土中の微生物の動きが活発になります。また食べた後に出す土は柔らかく、作物を育てるのに適した土になります。



11 ニセアカシアの切り株で、道管の様子を観察



10 桜の幹で見つけた白色腐朽菌のカワラタケ



9 白色腐朽菌のヒロタケ



8 観察会1週間前の下見ではまだ見られなかったスギナ



7 地表近くで花を咲かせるムラサキサギゴケ

積み草で観察したネズミ

積み草の中で見つけたネズミを調べてみたところ、ニホンハツカネズミでした。低地から山地の田んぼ、畑、草地、森林などに生息します。人家周辺でも見られ、冬は納戸などに入り込んで営巣することもあります。

同じように田んぼや畑で見られるハタネズミと標本で体の特徴を比べてみましょう。



ニホンハツカネズミ



ニホンハツカネズミ

尾を除く体の大きさは63~92mmで、尾の長さは53~66mmと体に比べてやや短い。耳の大きさは10~13mm。



ハタネズミ

尾を除く体の大きさは106~125mmで、尾は34~46mmと体に比べて短い。地中でトンネルを掘って生活するため、耳は毛の中に埋まっている。

計測値は『リス・ネズミハンドブック』文一総合出版より引用